ホウレンソウの品種紹介

雪印種苗㈱　中央研究農場

大　橋　真　信

アーガス１１７

1　はじめに

ホウレンソウは緑黄色野菜の代表として食卓には欠かせない重要野菜となっており，全国で幅広く栽培されています。ホウレンソウは作物としての特性上，秋～春播き栽培が最も作りやすく，作付の中心となっていましたが，近年では，北海道や東北・高冷地などにおいて夏ホウレンソウの作付けが定着し，同時に夏播きに適した品種の開発も進んでおります。

弊社では，秋，春播き用品種として「アールフォー」，「ニュースターII」，「バルタン（新品種）」，春～夏播き用品種として「晩抽ジュリアス」，「テクノス」，「テリオス」，「アーガス117(新品種)」などを販売しております。今回は，それぞれの品種特性および栽培のポイントについてご紹介致しますので，適品種の選定にお役立ていただければ幸いです。

2　各品種の特性と使い分け(表１，図１～３参照)

1）　秋～春播き品種

①　アールフォー

－濃緑，大葉で，べと病レース４に抵抗性を持つ秋～早春播き多収型品種－

低温伸長性に優れ，秋～冬の低温期にもスムーズに生育する秋～早春播き専用種です。べと病レース１～４に抵抗性を持つので，秋，春のべと病多発時期にも安心して栽培できます。葉形は１～２段の欠刻が入る剣葉で，葉幅が広く，ボリュウムのある多収型の品種です。

栽培のポイント

やや温暖な時期には葉柄が伸びやすく，低収の原因となりますので，播種期を必ず守って下さい。

また，厳寒期にはしわが出やすいため，べたが

表１　各品種の特性

品種名	生育の早さ	葉形	葉色	草姿	葉面の縮み	抽苔性	べと病抵抗性
アールフォー	早		濃	立性	少	中早	R1～R4
ニュースターII	早		濃	立性	少	中早	R1～R4
バルタン	早		やや濃	極立性	極少	中	R1～R4
テリオス	早中		やや濃	半立性	中	中	R1～R4
テクノス	早中		やや濃	半立性	少	晩	R1～R3
アーガス１１７	中晩		極濃	やや開張性	中	晩	R1～R3
晩抽ジュリアス	中		濃	半立性	やや少	極晩	R1～R3

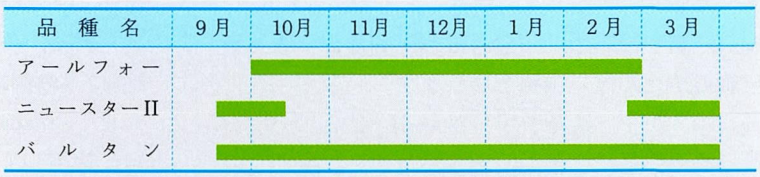

図１　一般地　秋～春播き栽培での播種期（露地、被覆資材）

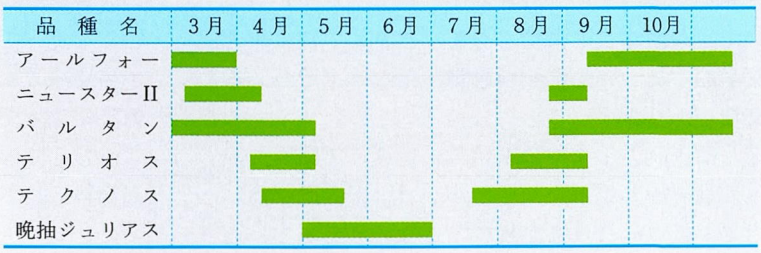

図２　府県冷涼地での各品種の播種期（ハウス、雨よけハウス）

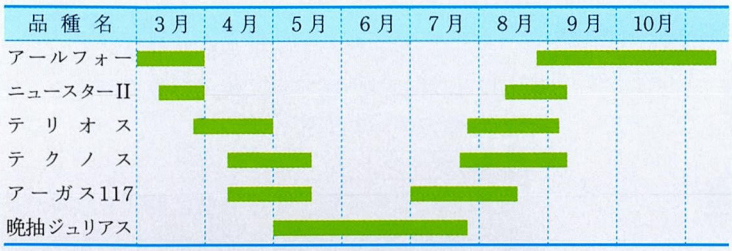

図3　北海道での各品種の播種期（ハウス、雨よけハウス）

写真1　アールフォー

け，トンネル被覆等を行うようにしてください。

② ニュースターII

－やや温暖な時期でも葉柄が伸びにくく，初秋・早春播きに適したべと病レース4抵抗性品種－

やや温暖な時期にも葉柄が伸びにくいので，初秋，早春のアールフォーの前後播きに適します。濃緑，大葉の剣葉種で，べと病レース1～4に抵抗性を持つので，べと病多発時期にも安心して栽培できます。

栽培のポイント

やや温暖な時期の栽培になるので，生育が早まります。一回の播種面積を少なめにして収穫適期を逃さないように注意してください。また，早春播きでのむやみな遅播きは抽苔の原因となるので注意してください。

写真2　ニュースターII

③ バルタン

－葉柄が伸びにくく，高品質で市場性の高い，秋～早春播きべと病レース4抵抗性品種－

やや温暖な時期にも葉柄が伸びにくく，抽苔も比較的安定しているので，初秋，春播きが可能です。低温伸長性に優れ，また，厳寒期でもしわが少なく，高品質のホウレンソウが生産できます。葉形ははっきりとした剣葉で，葉色は鮮緑色で色むらがなくきれいです。

栽培のポイント

生育が早いので，やや温暖な時期のハウス栽培などでは，冷気を取り入れた管理，粗植栽培を厳守し，一回の播種面積を少なめにして収穫適期を逃さないように注意してください。

写真3　バルタン

2）　春～夏播き品種

① テリオス

－冷涼地の早春，晩夏播きに適したべと病レース4抵抗性品種－

剣葉種が抽苔，徒長しやすい作型でもじっくり生育し，多収となる丸葉品種です。北海道の3月下旬～4月，7月下旬～9月上旬播きに適し，べと病レース4抵抗性を持つので，この時期のべと病対策として有効です。

栽培のポイント

低温期にはやや開張性となり，葉面にしわが発

写真4　テリオス

生しやすくなるので，保温ぎみの管理をするようにしてください。また，むやみな春の遅播きは抽苔の原因となるので播種期を守るように注意してください。

②　テクノス

－晩抽性で，冷涼地の4～5月播きに適し，しわが少ない三角葉で品質良好－

北海道，府県冷涼地の4～5月中旬，7月上旬～8月播きで生育旺盛の多収型品種です。葉形は葉先がやや尖る三角葉で，浅い欠刻が入ります。葉面がなめらかで，しわが少ないのが特徴です。

栽培のポイント

5月下旬～6月播きは抽苔の危険があるので，この時期の播種は避けるようにしてください。べと病レース4には抵抗性を持たないので，べと病の発生時期には防除を行なってください。

写真5　テクノス

③　アーガス117（標題写真）

－高温期にじっくり生育し，極濃緑の晩春，夏播き用品種－

北海道の4月中旬～5月中旬，7月～8月中旬，府県冷涼地の5月中旬～6月中旬播きに適します。じっくりとした生育で葉柄が伸びにくく，収穫期の幅が広い品種です。葉色は極濃緑色で，葉形は葉幅の広い丸葉種です。

栽培のポイント

北海道の5月下旬～6月播種は抽苔の危険があるので播種しないようにしてください。また，べと病レース4には抵抗性を持たないので，べと病発生時期には防除を行うようにしてください。

④　晩抽ジュリアス

－極晩抽性で株張りが良く，夏どりが本命の多収型品種－

高温条件でも生育良好で，抽苔は極めて安定するので，5～7月の最も抽苔しやすい時期の栽培に適します。葉形は葉幅が広く，欠刻のない丸葉で，外葉が垂れにくく，収穫・調整作業が容易な品種です。

栽培のポイント

生育が早いので収穫適期を逃さないように注意してください。また，萎ちょう病の発生しやすい作型になるので，土作りに努めて下さい。

写真6　晩抽ジュリアス

3　まとめ

ホウレンソウは周年需要の多い野菜で，作付け面積も増加傾向にありますが，1年を通して良品を安定出荷するためには，各播種期，作型に適した品種の選定が大きなポイントの1つとなります。

以上，弊社のホウレンソウ品種について簡単にご紹介いたしましたが，各品種の特性，栽培のポイントをご理解いただいて，良品を生産されることを期待しております。